

広報



かわにし

昭和 63 年 10/10 No.362

〒948-01 新潟県中魚沼郡川西町大字水口沢12番地 (TEL 0257-68-3111)

(FAX 0257-68-3828)

発行 町長 南雲春雄 編集 総務課文書広報係 印刷 白南風社

(毎月10日発行)

人口の動き

— 10月1日現在 —

男 4,584 (-4)

女 4,672 (-10)

計 9,256 (-14)

世帯数 2,282 (-4)

()は前月比較



フレッシュマンの 稲刈りツアー

— 9月18日 コシヒカリの田んぼ (沖立) —

「越後かわにしこねかの会社 (平野正晴社長)」
が企画したこのイベントには、都会から33人の女
性に参加しました。

地元の男性30人と、前夜の歓迎パーティーは、
「このまま終わらせたくなかった……」という声、
声、声。次の企画は、このツアー参加者との交流会
を11月に東京で開くことになっています。



休日救急医

10月16日 池田医院(本町西) ☎52-2581

23日 中条病院(中条) ☎57-3018

30日 山口医院(下条) ☎55-2003

11月3日 山口医院(袋町中) ☎52-2174

6日 大坪医院(四日町) ☎57-6100

議会 報告

九月十四日から十九日まで、第五回町議会定例会が開かれました。

十四日は、教育委員会委員の任命が同意されたあと、五人の議員から一般質問がありました。さらに条例の一部改正や廃止が決まりました。

十六日は、一般会計ほか特別会計などの補正予算が審議可決され、引き続き六十二年度水道事業会計決算の認定、固定資産評価審査委員会委員の選任同意などがありました。

最終日の十九日は、二件の意見書の提出と、十日町保健所の縮小反対、拡充強化の要望決議を可決しました。

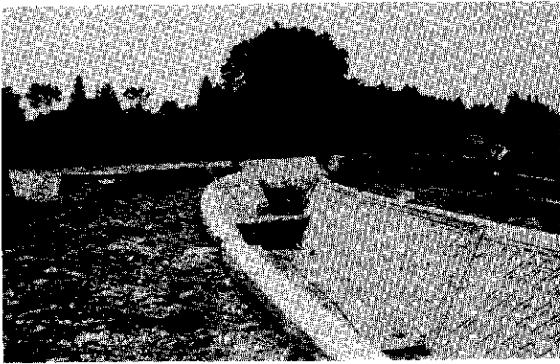
流雪溝計画の具体策

柳 藤作 議員

と総合的な流雪溝構想

南 雲 町 長

- 住宅密集地の克雪対策
- ① 流雪溝計画の具体的な実施見通し
 - ② 雪対策溪流モデル事業の完成



改修が進む千手川

① 流雪溝整備には、まず安定した水源確保が必要だ。

町内の河川では、信濃川以外は水量が得られない現状である。そこで考えられるのは、川西ダムを中心とする農業用溜池の水が不要な時期の利用を考えている。この利用には、土地改良区の同意を得て、そのうえで水利権の獲得を必要とする。

水源確保は、国県の助成事業のレールに乗せる重要な要件だ。ダム用水の水利権取得は流雪溝実現のための第一ハードルであり、担当課に対して準備に入るよう指示した。

② 雪対策溪流モデル事業で実施



県議選の開票作業 (62.4.12)

している千手川の改修は、六十六年完成の予定だ。流雪溝計画を進めるうえで重要な事業であり、おおいに期待を寄せている。

流雪溝実現のための第一は、流末処理だ。この問題解決のためには、沈殿池ほかを築造するなどの方法と考える。

財政的な問題についても、十分な見通しがたつと考えている。

選挙ポスター 掲示板の設置を

平野 正義 議員

高床式の新・増改築が進み、壁板の家屋も少なくなり何の選挙でも気をつかうのがポスターを張る場所だ。公営のポスター掲示板を設置する考えはないか。

南 雲 町 長

ポスターの掲示については、

建物の所有者に大変な迷惑をかけている実態と思う。県内の市町村では半数をこえる市町村が実施している状況だ。掲示板の設置は選挙管理委員会の方針を決定することであり、前向きに検討いただこう要請したい。

できれば、議会の皆様からも検討いただきたい。

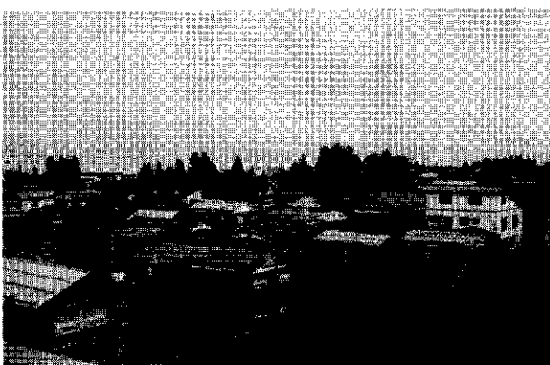
スーパー特急と 町の開発構想

戸田 哲次 議員

整備新幹線の着工順位問題に関連して、北越北線を改良したスーパー特急の案が浮上した。将来を考えたとき、スーパー特急や北越北線利用問題を含めた町の将来展望をお聞きしたい。

南 雲 町 長

北越北線にスーパー特急が通り、十日町駅に停車するということは首都圏への高速交通化を



役場屋上から十日町方面を望む

促進するものである。当地域の発展のためには極めて有効な政策と考える。関係市町村と粘り強い運動を継続すべきだと思う。自らが無理なりゾート化を急ぐよりも、優良なりゾート地に近いことを活用し、若者の定着、Uターンを図りたい。

そのためには、過去の例にこだわらない思い切った条件を提示して優良企業を誘致しなければならぬと考える。また、そのためには無雪道路の確保、流雪溝の整備、克雪住宅など総合利克雪対策を含む雪国条例の制

造林地の山火事対策

村山 勇太郎 議員

植林のために、雑木などを刈り払ったものが山に放置され、異常乾燥時には燃えやすくなっている。今春の山火事発生原因の状況と今後の対策について伺いたい。

南 雲 町 長

四月二十七日の山火事では、スギ二百本、三十アールを焼失した。山菜時期、農作業の準備

定もひとつの方法と思う。

人口増加対策の決め手としては宅地造成も必要であり、山野田地の具体化や、西の山地区一帯も検討すべきと思う。

明るく文化的な生活確保のためには、文化センターともいえるべき施設が必要と考える。多面的な総合施設で、運営は多角的な方面で検討すべきと考える。いまの低金利時代こそ思い切った投資時期と考える。一時的な財政の悪化も町民各位からご理解いただけると考える。

などで多くの入山者があり、警察、消防の現場検証では原因は不明であった。

造林地内での火災は、造林事業開始以来はじめてのことであり非常に残念だ。この場所には本年度スギを補植する計画だ。山火事の原因は、人為的なものが多く、予防対策の普及と災害防止用の標識、標柱などを設置する準備を進めている。

JRトンネル

横坑利用の特産品開発

柄沢 悌二 議員

JR水路トンネルの完成後に横坑の払い下げを受けたらどうか。トンネル内は年間一定の温度であり、低温倉庫、キノコ栽培などに利用し特産品の開発に役立つのではないかと。

南 雲 町 長

水路トンネル掘削のための横坑は三か所あり、合計の長さは六六〇メートルある。この横坑は他の市町村のものとは違い、閉鎖しない方針で吹き付けコンクリートをしてあり、ゆう水を補



延焼中の山火事現場



取安坑口を視察する議会特別委員会(3.31)

教育委員に石沢さん再任

議会では石沢邦治さん(上町)を教育委員に再任することに同意しました。そのあと教育委員会では、同氏を教育長に再任しました。

固定資産評価審査委員の同意

九月三十日で任期満了となる黒嶋善助さん(高原田)を再任することに同意しました。

四番目の屋外体育施設

白倉運動場が完成

小白倉部落入口に完成した白倉運動場は野球場が一面です。工事費およそ千五百万円で完成しました。



白倉運動場開き(9・15)

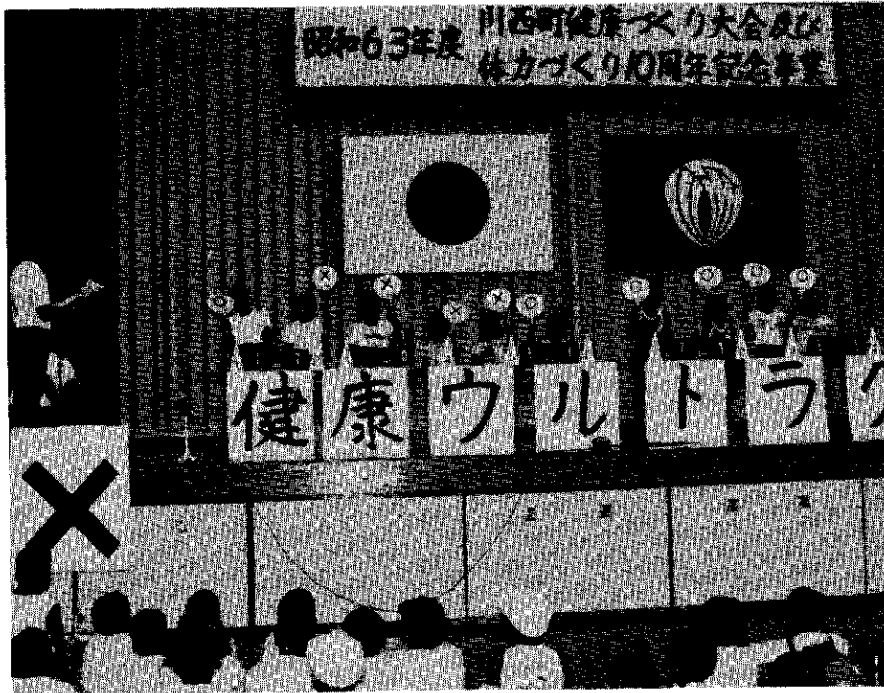
(以上質問順に掲載)

健康づくり標語—田中淳子さん(小白倉)

健康づくり町づくり



記念品を受ける 田中さん



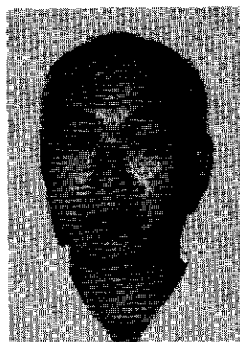
小学生の部の「健康ウルトラクイズ」

九月四日、総合体育館で「健康づくり町民大会」と「体力づくり宣言十周年記念大会」が開かれました。

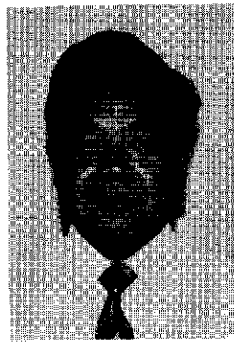
この大会は、健康づくり運動と町民皆スポーツ運動の普及推進をはかりたいという目的で進められました。献血功労者表彰、健康モデル集落の認定証交付などに続き「自分の健康は自分で守り育てよう」と健康まちづくり宣言も合わせて決意されました。

会場では、医師による健康相談、健康パネルの展示や、老人クラブのパザールも開かれ、お昼にはコシコカリのおにぎり、豚汁、牛乳のサービスがありました。午後からは町で初めての「綱引き大会」に、三十二チームが参加しました。館内は観衆の大声援で一戦一戦が盛り上がり、熱戦の連続でした。

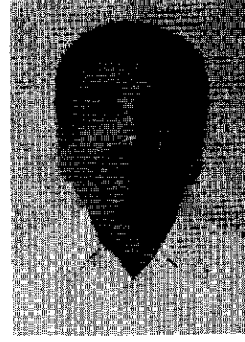
山口 康司(仁田) 39
相崎 武二郎(中島町) 38
高橋 藤吉(中屋敷) 36
内山 武勇(新町新田) 36
小海 マツ子(小根岸) 35
丸山 喜一(木落) 35
蔵品 泰治(霜条) 35



藤巻 幸夫(塩辛) 40



小野塚 高志(四郎兼) 41



中条 和章(沖立) 47

● 献血功労者

数字は献血回数

Ⅱ 表彰された方々 (敬称略) Ⅱ

宮 正朗(山野田) 34
根津 栄一(原田) 34
清水 直(中央町) 33
星名 和幸(伊友) 33
宮 徳次郎(東善寺) 32
中村 義雄(木島) 31
南雲 喜一(田中町) 30
佐藤 春男(発電所通り東) 30

● 保健衛生功労者

和久井節子(木落)

食生活改善推進員二十年功勞

登坂 初枝(赤谷)

母子保健推進員十二年功勞

● 環境衛生功労者

高橋 好雄(三領)

公衆衛生推進員十八年功勞

● 標語入選者

秀作 田中淳子(小白倉)

佳作 高橋身依(千手小)

入選 田村雅寿美(〃)

入選 田畑裕之(上野小)

水落孝一(橘小)

関口英生(川西中)

水落亜樹(〃)

野上朋美(千手小)

高橋博美(仙田小)

田中克子(小白倉)

● 室内マラソン完走者

弥彦コース 小林美喜(中仙田)

長野コース 小林文子(〃)

東京コース 田中昭(発電所通り西)

大塚甚一(高原田)

山口清(仁田)

スポーツで



コシヒカリおにぎりに満足満腹

当日ご来場いただいた方々には、おにぎりや豚汁、漬物や牛乳が配られました。
農協提供のおにぎり用の米は百二十キロのコシヒカリ、十五人が三時間かかって二千四百個

(二合で三個) 作りました。
また、豚汁は肉を二〇キロ、長ネギ二四キロ、ハクサイ二二キロなどを使って六人が、二時間で六百人分を作りました。



▲ 一般の部で優勝した白倉チーム

綱引き大会の結果

- ◆ 小学生低学年の部
 - 優勝 三 箇
 - 2 位 新 町
 - 3 位 上野 B
- ◆ 小学生高学年の部
 - 優勝 S S C 中仙田
 - 2 位 上野 D
 - 3 位 新 町
 - 白倉小
 - S S C 赤谷
- ◆ 一般の部
 - 優勝 白倉チーム
 - 2 位 ウエストリパーキング
 - 3 位 川西電気チーム
 - オーブアンドポパイ
 - S S C 中仙田



- 見ていただけじゃつまらない ●
- 一度やったらやめられない ●
- 今度は参加してみよう ●



下原 須藤スイさん (明治31, 4, 19生)



伊友 星名イマさん (明治31, 5, 30生)



上町 酒井クラさん (明治26, 4, 11生)



根深 丸山寅吉さん (明治32, 2, 15生)



沖立 五十川キンさん (明治26, 11, 19生)

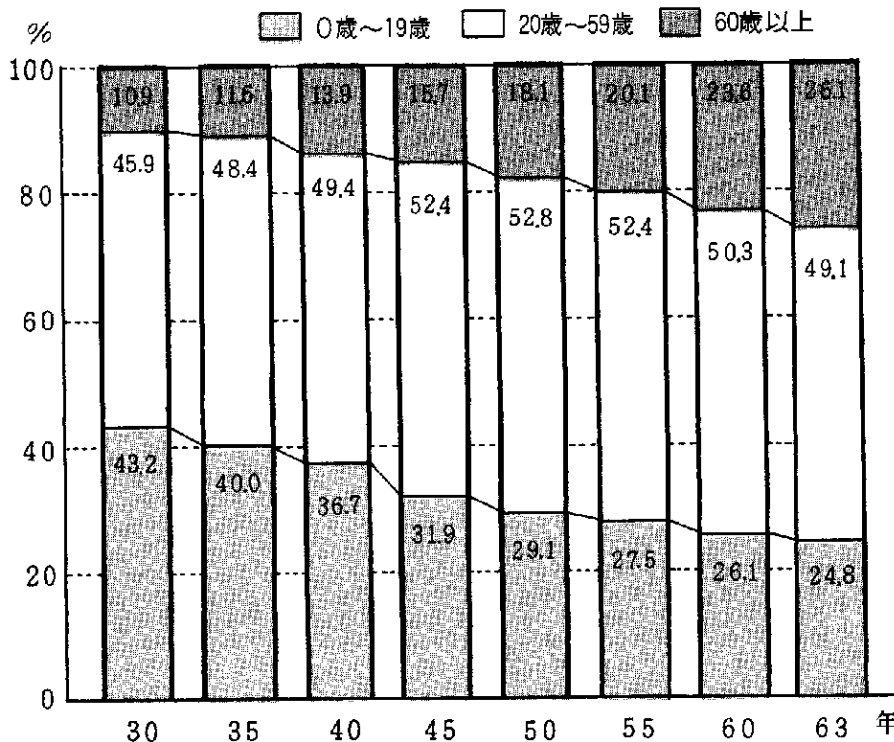
お贈りしました

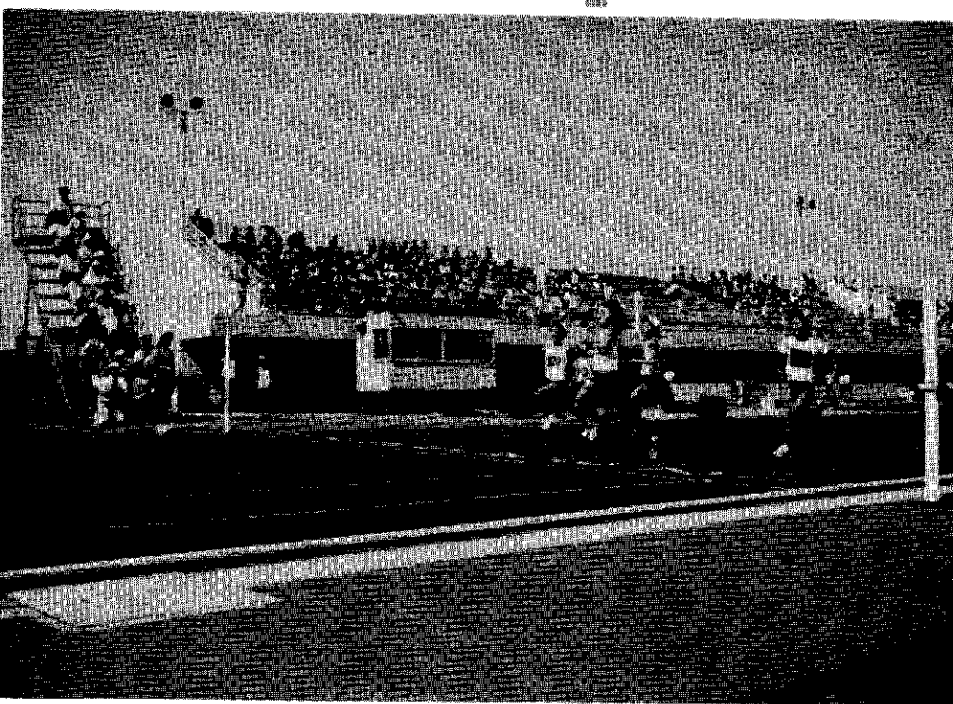
敬老祝品

老人週間 (九月十五日～二十一日) にちなんで、町と県から七十五歳以上の七百四十四人に、敬老祝品をお贈りしました。
なかでも、九十歳と九十五歳の五人には、九月十五日、町長が各家庭を訪問し、直接手渡ししました。(写真は訪問先)

年代別人口の 移り変わり

このグラフは、町の人口を三つの年代に分けたものです。
昭和三十年には、〇歳から十九歳までの人口が全体の四三・二%、六十歳以上が一〇・九%でした。それが現在では、〇歳から十九歳までと、六十歳以上がほとんど同じく、およそ二五%ずつとなっています。
平均寿命の延びと、若年層の流出などを主な要因とする人口構造が、大きく変化していることがわかります。





5年女子100メートル予選

第19回

町内小学校

親善陸上大会

十日町市陸上競技場 9月14日

九月十四日、小学校親善陸上大会には、町内五校から五・六年生二九六人が集まりました。この大会は、「恵まれた競技場で、自分の力を延ばしてほしい」といった願いから、全天候型の競技場で初めて実施しました。選手は「ボンポンはずんで、学校の土のグラウンドのほうがよかった」といった声もありました。

【男子】

◆5年100メートル

①小林一則(仙田)②南雲啓至(千手)③大久保篤史(橘)

◆6年同

①丸山 崇(橘)②大塚大士(千手)③高橋完享(仙田)

◆5年80メートルハードル

①大塚 晋(千手)②平沢孝志(同)③根津 章(橘)

◆6年同

①小林義和(仙田)②山岸直人(千手)③羽鳥 雅(同)

◆5年1500メートル

①富井隆暢(上野)②小海 基(千手)③和久井健(橘)

◆6年同

①高橋和久(千手)②春日敏明(同)③渡貫克典(上野)

◆5年400メートルリレー

①千手A(櫃間、大塚、羽鳥、南雲)

②千手B(小海、小林、平沢、高橋)

③橘A(清水、藤原、根津、大久保)

◆6年同

①千手A(羽鳥、山岸、畠山、大塚)

②仙田(小林一、小林義、高橋寛、高橋完)

③千手B(高橋義、羽鳥、高橋一、富永)

◆5年走り幅とび

①櫃間英信(千手)②高橋孝治(上野)③南雲啓至(千手)

◆6年同

①小林義和(仙田)②羽鳥 努(千手)③小林一成(同)

◆5年走り高とび

①清水正憲(千手)②小林正英(同)③樋口政和(仙田)

②大久保篤史(橘)

◆6年同

①大塚大士(千手)②星名豪紀(同)②丸山 崇(橘)

【女子】

◆5年100メートル

①高橋 梢(千手)②内山織絵(上野)③庭野悠子(千手)

◆6年同

①丸山美雪(千手)②田辺紀子(同)③丸山 歩(同)

◆5年80メートルハードル

①数藤ひろみ(千手)②星名恵美子(同)③櫃間 悠(同)

◆6年同

①上村沙織(上野)②南雲美香(仙田)③南雲和美(千手)

◆5年800メートル

①櫃間 悠(千手)②高橋典子(仙田)③庭野悠子(千手)

◆6年同

①丸山真由美(千手)②小川ゆかり(仙田)③田辺紀子(千手)

◆5年400メートルリレー

①千手B(星名愛、高橋、星名恵、数藤)

②千手A(櫃間、高橋、庭野、大塚)

③上野(齊藤、清水、渡貫、内山)

◆6年同

①千手A(丸山美、丸山歩、太田、田辺)

②橘A(高津、山口直、関口、田口奈)

③上野(茂野、上村、渡辺、小海)

◆5年走り幅とび

①高橋 梢(千手)②数藤ひろみ(同)③黒嶋智子(千手)

◆6年同

①上村沙織(上野)②丸山真由美(千手)③平野由布子(同)

◆5年走り高とび

①齊藤純子(上野)②中川靖子(橘)③高橋聖美(仙田)

◆6年同

①南雲美香(仙田)②丸山美雪(千手)③高橋和美(同)

③関 文恵(同)③金子寛子(仙田)

はる
史
語
19

川西人国記

岩瀬金子幸作

社会科の副読本

郷土の姿を正しく理解してもらうために小学校の中学年を対象に、「わたしたちの町」川西町を編さんしたのは昭和四十七年であった。以来、時代の進運に対応し、五十一年と五十八年に改訂版を発行して、社会科副読本の役割を果たしてきた。

しかし、町の変ぼう発展はいよいよ激しく、来年度十四年に、再度の改訂版を発行して活用を図ることになった。武田勝司橘



木落三島社境内に建つ「鶴寿道人の碑」

小学校長を委員長に、二宮明治仙田小教頭、大塚堅(千手小)、柳久雄(上野小)、高橋みどり(橋小)、高橋吉太郎(仙田小)、小川克己(白倉小)、山下二郎(川西中)の先生方が、鋭意編さんに専心しておられる。

いま検討されているのは、「副読本のなかに児童の模範となる人、または、地域に貢献した人物を旧町村から一人ずつとりあげたい。だれにしたらよいか」というむずかしい課題である。

環境が人をつくる

人間のできぐあいは、その人の育つ環境や気候、風土に大きく左右されるという。そのためか、私たちの町で特筆しなければならぬのは、はだか一貫から身を起し、今は都会やその周辺で豊かに暮らす億万長者の多いことであろう。

昔話の「アンボコロリン」よろしく、狭い父祖の地では、税(うだつ)の上がらないことを悟り、いわゆる、江戸へ出て一旗掲げた成功者は枚挙にいとまがない。また、現代は医師・看護

婦・教育・宗教・芸術家・検事・弁護士・消防士・警察官をはじめ、官公庁や企業的重要な地位にあって活躍する人、した人が、どの集落からも一人や二人は出ている。

村を救った庄屋たち

町の歴史をひもとくと、住民の期待にこたえて政治のひのき舞台に登場した人や、家業・家財をかねてくれた人士が少なくない。こうした人たちは、「昔はこんな庄屋様がいた」「あの人は偉かった」などと今も誇らしく語り継がれている。戦没者を悼む碑のほか、人によつてはその業績が石に刻まれて末代に伝えられていくのである。

中屋敷村には、剛直で侠気の庄屋が二人もいた。その一人、忠兵衛は、天明二年(一七八二)の検地に水増しのあったことを知り、柏崎御役所へ訴え出た。捕えられたが、獄中でも正義を貫き、五年日に悪役人三六人が糾弾されて一件落着いている。野上与三兵衛は、村の野心家と癒着した役人衆の悪事を建白書に認め、安政七年(一八六〇)に自殺してその不正をいさめていた。野口村の庄屋野沢雄左衛門は、悪徳好色な代官や役人たちの非行をただしている。

石碑に刻む業績

鶴寿道人と号した田口藤内(木落)は、十日町の服部乗山に医を学び、「治をこう者が門前に列をなす」名医となった。治療のかたわら、百余人の若者に儒学を教えたが、その塾(永照堂)は妻有地方における学校教育の草分けとなった。藤内の徳を慕う門弟たちが、嘉永四年(一八五二)に、感謝の碑を三島社境内に建立している。

若くして出家した恵了(小白倉)は、江戸で修業を積んだ博学・高德の禅僧であった。白倉をついの住家としたが、門徒の村は禅の教えに交わらず、若い衆に俳句を教えることで文字を覚えさせた。その寺子屋が白倉校の創設につながっている。

北越戊辰戦争で、川西に反攻した新政府軍の先導役を勤めた丸山一平(新町新田)は、後年村のために身の危険を冒して、かんがい用の水穴を点検中に土砂くずれの犠牲となった。その死を悼む碑が、田代へ通じた旧街道の入口に建てられている。寺ヶ崎地内には、南沢の暴れ川をみごとに治水した中村壮吉(初代川西町長)の頌徳碑がある。ほ場整備や東洋一のダムを完成させた根津正三(前川西町

長)の彰徳碑は、故人がゆかりの川西ダムを見下ろしている。

親孝行と責任感

昭和十三年夏の明け方、一人の少年が伊勢平治から上野へ急ぎ、藤巻医院の門をたたいた。先生が往診し、苦しむ親を入院させて治療したが、少年の両親は病弱で家は貧しく、国民健康保険も無かった時代で医者代を払えなかった。仁医の先生は、親孝行で評判のこの少年を慰め「もう一つもりはない、気にせず看病しなさい」と励ました。その年の冬、藤巻さんに東京から一通の為替が届いた。少年が出かせぎ先で得たわずかの金を、親の治療費の一部にと送つてよこしたのである。この行為は十七年まで毎冬続いたが、以後は絶えて先生も忘れていた。二十年の田植えころ、先生あてに軍事郵便が届いた。その中に、出征した少年が軍隊で貯めたという血のにじむような金が入っていた。そのころ、二十二歳に成人した少年は、ルソン島の山奥で機関銃を撃ちながらこの世を去っていたのである。名譽町民の藤巻力雄先生が、生前、「あんなに親孝行で、責任感の強かった人をほかに知らない」と語っておられた。

— 50年ぶり —

ふるさとの秋祭り

九月七日松葉荘に、東京仁田会（山田十久二会長）のみなさんが集まりました。去年十二月号で紹介したとおり、同会は昭和十三年「東京仁田村人会」として発足したのが始まりです。今年ちょうど五十周年を迎えたことから、ふるさと仁田の秋祭りに合わせて日程が組まれたものです。

夕食のあと、全員が祭りの主会場熊野社境内へ繰り出しました。地元では、久しぶりの珍客に、芸能大会や地踊りも一段と盛り上がりました。踊りの合間には、同会から仁田部落に記念品を贈るひとこまもありました。

東京仁田会の皆さん

9・7松葉荘で



「力士碑」前に勢ぞろいした
往年の名力士

(仁田 山口三三さん提供)



ばいけい

ふるさと

さん

7月19日発

節黒の望楼から

六百年の昔をしのぶ

与野市 南雲 吉春 さん

(中仙田出身)



旧川越城本丸御殿で

(5・30)

七月十六日のクラス会に、松葉荘を利用していただきました。料金も安く、道路に面しているながら防音もよくて熟睡。眺めも良好でした。

私たちは、昭和十年旧仙田村中仙田尋常高等小学校卒業のクラス会で、松葉荘で開いたのは始めてです。開催年次も当初の五年ごとが、三年となり隔年となり、次第に短くなってきまし

た。老いを自覚し、若さをうらやむあせりのような気持ちのあらわれだと思います。子育てに追われ、生活に懸命のときには、同級生との交歓もありありませんでした。故郷を離れ現役を退いた現在、クラス会に集い、互いに顔を合わせると、今更ながら、多情多感な少年の日の懐かしく思い出されます。

翌十七日は、マイクロバスで母校跡や通学路を回り、見事に植林された尾根を通って、節黒城跡に立ちました。中世、妻有

荘、波多岐荘とよばれた山野が一望のうちに展開する景観は、新田義宗が、尾根の交通路を押さえて、対岸の大井田や羽川など魚沼の新田党と呼応するには最適の場所だったようです。節黒の望楼にたつと、しばしば六百年前の往時をしのびました。NHK大河ドラマ「武田信玄」で柴田恭兵演ずる長尾景虎（後の上杉謙信）が、摩（き）下

武将上野家成（節黒城主）と下平修理介（千手城主）が、仲裁人のいうことを聞かず領地争いを止めないようでは、とても一致して敵に当たることは出来ない。と、側近に怒っている場面がありました。その争いの場所はどこか、と、興味をもつて眺めた次第です。

時折ばらつく雨に、追われるように駆け足の巡回でしたが、やはり古里の野山は懐かし草の匂いが心地よく感じられました。二十数年振りの千手の観音様は、十七日だというのに閑散として、これが十七夜だろうか、と、時の流れを感じ、寂しさをかくし得ませんでした。昼食の「小嶋屋そば」は、昔と変わらぬ歯ごたえのある絶品でした。各地の名物そばを賞味しますが、よそでは味わえないものがありました。

一年後のクラス会もまた、松葉荘で開くことに決まりました。松葉荘従業員のみなさまには、大変お世話になりました。厚くお礼申し上げます。

久し振りに、川西の山河を望んで乱筆がいささか長くなり恐縮に存じます。ご容赦ください。町民のみなさまのご健勝をお祈りいたします。

九月一日、二日の千手まつりは、天候に恵まれ、各町内から子供みこしなどがにぎやかに繰り出しました。そのなかで、朝日町の女性みこしは、NHKテレビで紹介されるなど、話題を呼びました。

この町内は、文字どおり新興住宅地で、現在三十世帯、百一

女性みこし登場 思い切って短パンに

十二人がお住まいです。比較的若い世帯が多いことから、二十代から四十代の人たちを中心に企画実行されました。

「最初、短パン姿で出るときは勇気がいりました。でも、とても楽しかった。来年も、ぜひやりたい」と、若いお母さんたちは話していました。



9・1 朝日町 女性みこし
同町 高橋文代さん撮影

明日の雪とくらし展 雪に強く、雪と楽しく

・10月22日(土)～23日(日)

両日とも10時～17時

・上越市

リージョンプラザ上越

◇インドアスタジアム

・克雪対策の現状・雪に強いくらし・雪と楽しむくらし・雪の科学
・克雪相談

◇コンサートホール

10月22日(土)13:30～15:00

講演「未知への道」

登山家田部井淳子氏

10月23日(日)

県警音楽隊コンサート

スキー映画

講演「雪のものがたり」

童話作家杉みき子氏

・入場無料

・県克雪総合普及実行委員会主催

ガイド

情報

心配ごと相談

10月16日(日)…… 克雪センター

23日(日)…… 総合センター

30日(日)…… //

11月 6日(日)…… 上野コミセンター

13日(日)…… 橘コミセンター

時間は、午後1時～3時です。

移動交通事故相談

11月7日(月)

十日町市役所

受付は、午前10時～午後2時



1年 山家正史くん



3年 佐藤 智之くん



4年 大久保雅基くん



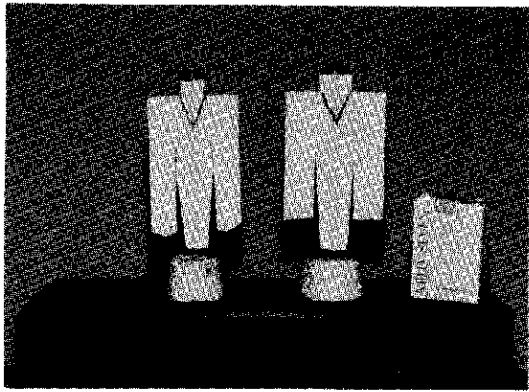
2年 須藤 輝美さん



6年 片桐 裕美子さん

ちいさな展覧会

橘小学校



男 女 二 神 の 便 所 神 (寺 尾 長 谷 川 正 巳 さん 協 力)

というのは、僕の家のWCは水洗のくみ取り式です。毎月のくみ取り料もなかなかバカになりません。で、けちな僕は「お前がいつも汚ない汚ないと言っ

九月号、金子幸作氏の「歴史は語る・美男と美女の育つ家」面白く読みました。女房に見せたら、早速「わかったでしよ。

便所神の効用

水戸市 長谷川 富次さん

いくら言ってもあなたはバカに

流してしまおうのでくみ取り料は減りません。

でも、この文を読んで僕の心も変わりました。金子さんの言うとおり、女房がトイレをきれいにしてくれたので、二人のわが子はそろって美男。こないだ生まれた長男の赤ん坊も、将来美女まがいなはずです。しかもこのごろ、女房がますます若くきれいになるのに、僕の方は、しわはふえるは、顔にしみは出るわ、目の下はたるむわ、これ、たしかに便所神のたたりにきまりです。僕も今日から水をジャージャー流すことに決めました。そうすれば、八十歳ころまでには、きれいなおじいちゃんになるかも。

比島の娘さんたちにも、大いにWCをきれいにしよう言っ



一般寄付

(敬称略)

東京仁田会 (千代田区・山田下久二会長)

南雲久守 (中央町)

広報発行に

室岡倉一 (流山市)

一万円

新潟県最低賃金

63年10月1日から

1日 **3,653**円
1時間 **457**円

わんさん

ふくし

任意加入で

くらしを豊かに

「六十二万七千二百円」なんの金額かご存じでしょうか。六十歳になるまでの間に、国民年金に加入すべき(加入できる)期間に、保険料を納めてきた人が、六十五歳から老齢基礎年金を受給開始する場合の年金額です。簡単に言えば、ごく一般的な人が、六十五歳からもらえる年金の額です。

もちろん、六十歳から繰り上げて年金を受けたり、未納期間があつたりすると、その分だけ額が少なくなります。

六十歳から六十五歳になるまでの間、国民年金に任意加入し、保険料を納めることによって、無年金から脱出できる場合もあります。

また、減額されて満額年金を受けられない人も、任意加入制度を利用して、満額か満額に近い年金額を受けることができます。

厚生年金の裁定請求は

近年、厚生年金の受給資格該当者は、増加の一途をたどっています。

開かれていきます。時間は、いずれも十時から三時までで、会場は、十日町織物会館です。

国民年金だけの裁定請求手続きは、役場でできますが、国民年金と厚生年金の両方に加入したところのある方は、直接、社会保険事務所に裁定請求しなければなりません。

そこで、長岡社会保険事務所の出張事務相談が、次の日程で

10月12日(水)
11月14日(月)
12月12日(月)
1月12日(木)
2月13日(月)
3月13日(月)

戸籍の窓から

たかさこーご円満に

星名 秀行 沖立
池浦 由紀子 新潟市から

うぶ声ーおすこやかに

高橋佑太郎 明人 悦子 長男 朝日町

星名 研吾 隆之 一男 霜条



かわにし 俳壇

太田白南風選

三領 水品 律

○咲きこぼれ咲きこぼれ萩細やかに
○木犀の匂い流るるほどの風
○木犀の香のみほとりに夕ごころ
もつれつつ蝶の乗りゆく秋の風

小脇 佐藤 信一

○行く夏を惜しみて網戸洗いけり
丹精の稲穂波打つ日和かな
初刈に汗ばむ風のさわやかに

八王子市 田中 ひさ

○罌粟ひろがる空となって秋
去る夏を惜しみつつ鳴く蟬とこそ
萩の花しだるる崖の高さかな

八王子市 松浦 サク

○どんぐりのころりと落ちて秋深む

押木 莉絵 豊彦 長女 元町

上村香菜子 保弘 長女 上野

清水 拓矢 雅春 二男 寺ヶ崎

蔵品 建 純子 長男 霜条

蔵品 隆法 真隆 長男 元町

丸山 愛美 昭男 長女 根深

村山 洋輔 信行 長男 高原田

土手を染め彼岸日和や彼岸花
鈴虫の鳴きほうせん花遅れ咲き

小白倉 江口みゆき

稲刈れば水草の花あらわれし
長雨や稲の倒伏気にしつづ
稲葉よせ終えし安堵に夜半の雨

岩瀬 小川 益栄

赤とんぼ止めて憩いの保安帽
黍の穂の折れ曲りたる風の秋
洞落のあわれ一入彼岸花

大倉 中条 石平

束の間の読書に更けて秋灯下
バス背に花の触れあう萩の道
夜なべする納屋の明りや虫の闇

野口 野沢 寅生

鉢巻をきりりと武者の案山子展
一部屋に灯のある校舎秋の暮

伊勢原市 金子 桂吉

晴れやかな産着秋日の宮詣り
秋深し鼻緒のゆるき男下駄

小川 泰人 睦 二男 赤谷

昇天ーこめい福を祈る

田口 敦子 48 (秀正) 木落

中村 政子 53 (善春) 坪山

池竹 セン 59 (謙二) 原田

清水 昇 67 (本人) 下平新田

金井 ヨシ 71 (正吉) 中仙田

丸山初太郎 77 (正男) 根深

霜条 星名 星光
句碑文字を深く伝わり秋の雨
コスモスの風にあそんで蝶とべる

霜条 大海 白満

ぬばたまの闇を好みてちちろ鳴く
神苑に拍手ひびく虫しぐれ

足立区 山形 頼太

空高くあくまで高く柿の秋
山門へ道真直ぐや翳雲

野口 村越 幸

敬老の日のお祝いの本を読む
長雨に倒伏の田に腕を組み

新町 井川 亘

長き夜を日覚めて虫の声しきり
雷の近しと鎌をほうりけり

上町 高橋 願似

秋の夜のこおろぎ鳴きて更けゆけり

食は健康の基本

健康を守るのに食事が大切なことは、いうまでもありません。「食べる」ということは、運動休養とともに健康の維持、増進を支える二本柱の一本です。

我が国の食生活は、今、飽食の時代にあるといわれています。しかも、不規則な食事をしたり、外食に偏ったりして栄養の過不足を招き、その結果、成人病にかかるといわれています。

美食品に頼ることなく、愛情のこもった手料理ー栄養のパラ

ンスのとれた家庭の味ーを忘れずに用意したいものです。

そして、こんなときこそ、加工食品に頼ることなく、愛情のこもった手料理ー栄養のパラ

ンスのとれた家庭の味ーを忘れずに用意したいものです。

そして、こんなときこそ、加工食品に頼ることなく、愛情のこもった手料理ー栄養のパラ

心にも栄養を

「食」の目的は栄養成分をとることにあります。それでも、栄養成分にだけ気を配っていればよいというものでなく、食事をするときの雰囲気も大切です。

心身の栄養になるからです。しかし、最近では生活環境や社会環境などの変化により、家族が別々に食事をすることが多く



くしんんん